

104-35

問題文

キサンチンオキシダーゼを選択的に阻害するのはどれか。1つ選べ。

1. ベンズブロマロン
2. アロプリノール
3. コルヒチン
4. ラスプリカーゼ
5. プロベネシド

解答

2

解説

選択肢 1 ですが

ベンズブロマロンは、尿酸の尿細管における再吸収を特異的に抑制する薬です。キサンチンオキシダーゼ阻害剤ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

アロプリノールは、キサンチンオキシダーゼ阻害薬です。

選択肢 3 ですが

コルヒチンは、対症療法に用いられる、痛風治療薬です。微小管タンパクであるチューブリンに結合することで、細胞分裂を抑制させます。主に好中球に作用し、抗炎症作用を示します。キサンチンオキシダーゼ阻害剤ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

ラスプリカーゼは遺伝子組換え尿酸オキシダーゼです。点滴静注薬です。がん化学療法に伴う、高尿酸血症の治療に用います。キサンチンオキシダーゼ阻害剤ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

プロベネシドは、尿酸排出促進薬です。キサンチンオキシダーゼ阻害剤ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 2 です。

類題)

参考)